



J R登別駅へのエレベーター設置に向けた取り組み

予算額 782万円

公共施設整備の優先順位第2位とした『JR登別駅のバリアフリー化の1つとしてのエレベーター設置』については、北海道旅客鉄道株式会社と引き続き協議を進めるとともに、エレベーター設置に必要な地質調査などに関する費用の一部を、同社に対して負担します。



▲エレベーター設置に向けた協議が進むJR登別駅

新規



市役所本庁舎の建て替えに向けて

公共施設整備の優先順位第1位とした『市役所本庁舎の建て替え』については、地区懇談会などを通して、多くの市民の方と意見交換をしてきました。

今後、建設時期や建設場所などの基本構想(案)についての情報は、広報のぼりべつなどを通して、市民の皆さんにお知らせしていきます。



▲基本構想(案)をもとに今後、広く市民と意見交換を行います

新しい消防支署の建設

予算額 1億714万円

平成30年度から登別支署と登別温泉支署を統合した新支署の建設工事を行い、2020(平成32)年10月の供用開始を目指します。

また、新支署の建設と並行して、公共施設整備の優先順位第3位とした『消防本部・本署の建て替え』についても、検討を重ねていきます。



▲中登別町に建設予定の新消防支署のイメージ図

小学校校舎などの耐震化・改修

予算額 3億514万円

幌別西小学校と富岸小学校の耐震化・改修工事や登別小学校の耐震化・改修に向けた実施設計を行うほか、幌別西小学校の受変電設備の取り替えなどを行います。



▲平成30年度から耐震化・改修工事を始める幌別西小学校(左)と富岸小学校(右)

水槽付消防ポンプ自動車の更新

予算額 5,446万円

消防署に配置している水槽付消防ポンプ自動車を更新し、消防体制の強化を図ります。



▲迅速な消火作業が可能な水槽付消防ポンプ自動車

市営住宅等長寿命化計画の改定

予算額 473万円

将来にわたって市営住宅などを適切に管理するため、『登別市営住宅等長寿命化計画』(現行の計画期間は平成22年度から平成31年度までの10年間)の改定に着手します。

新規

市営住宅の建て替えや改修

予算額 1億5,596万円

千代の台団地の建て替え工事のほか、幌別東団地の外壁や登別温泉団地の浄化槽、柏木団地の物置の改修などを行います。



▲平成30年度から建て替え工事を始める千代の台団地